

アクチュエーションポイントと ラピッドトリガーの 設定方法

目次

1. アクチュエーションポイントの設定方法 P.02

- 1 設定画面への移行 P.02
- 2 キー選択 P.02
- 3 数値変更 P.02
- 4 設定の反映 P.03
- 5 ヒントのポップアップ P.03

2. ラピッドトリガーの設定方法 P.04

- 1 設定画面への移行 P.04
- 2 キー選択 P.04
- 3 数値変更 P.04
- 4 設定の反映 P.05
- 5 ヒントのポップアップ P.05

1. アクチュエーションポイントの設定方法

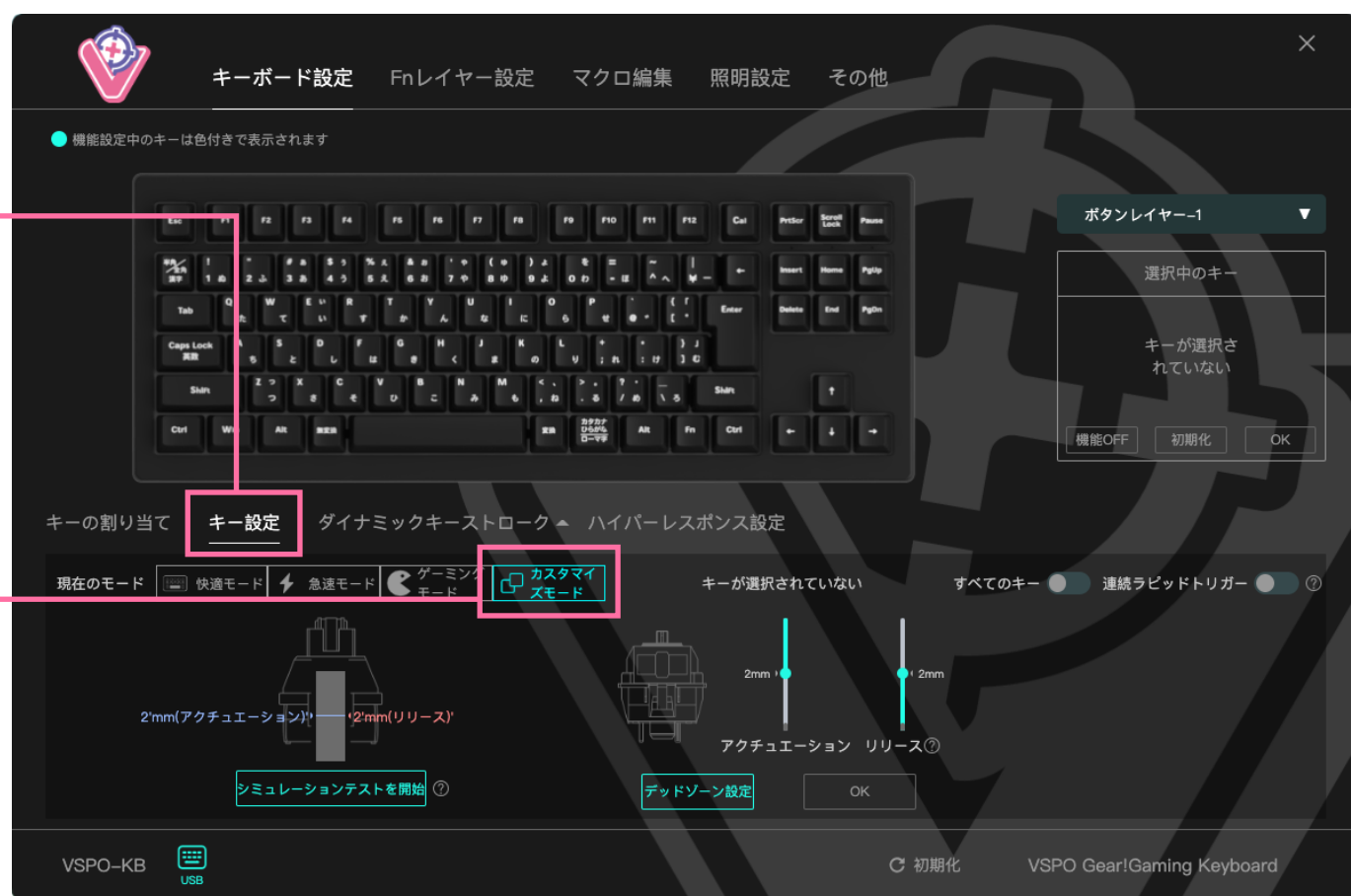
アクチュエーションポイントとは

キーを押して反応するまでの深さのことを指します。
 アクチュエーションポイントが浅い(数値が小さい)ほど、入力速度が早くなります。

1 設定画面への移行

ドライバ起動後、「キーボード設定」内にある「**キー設定**」を選択します。

次に、「**カスタマイズモード**」を押して現在のモードを変更します。



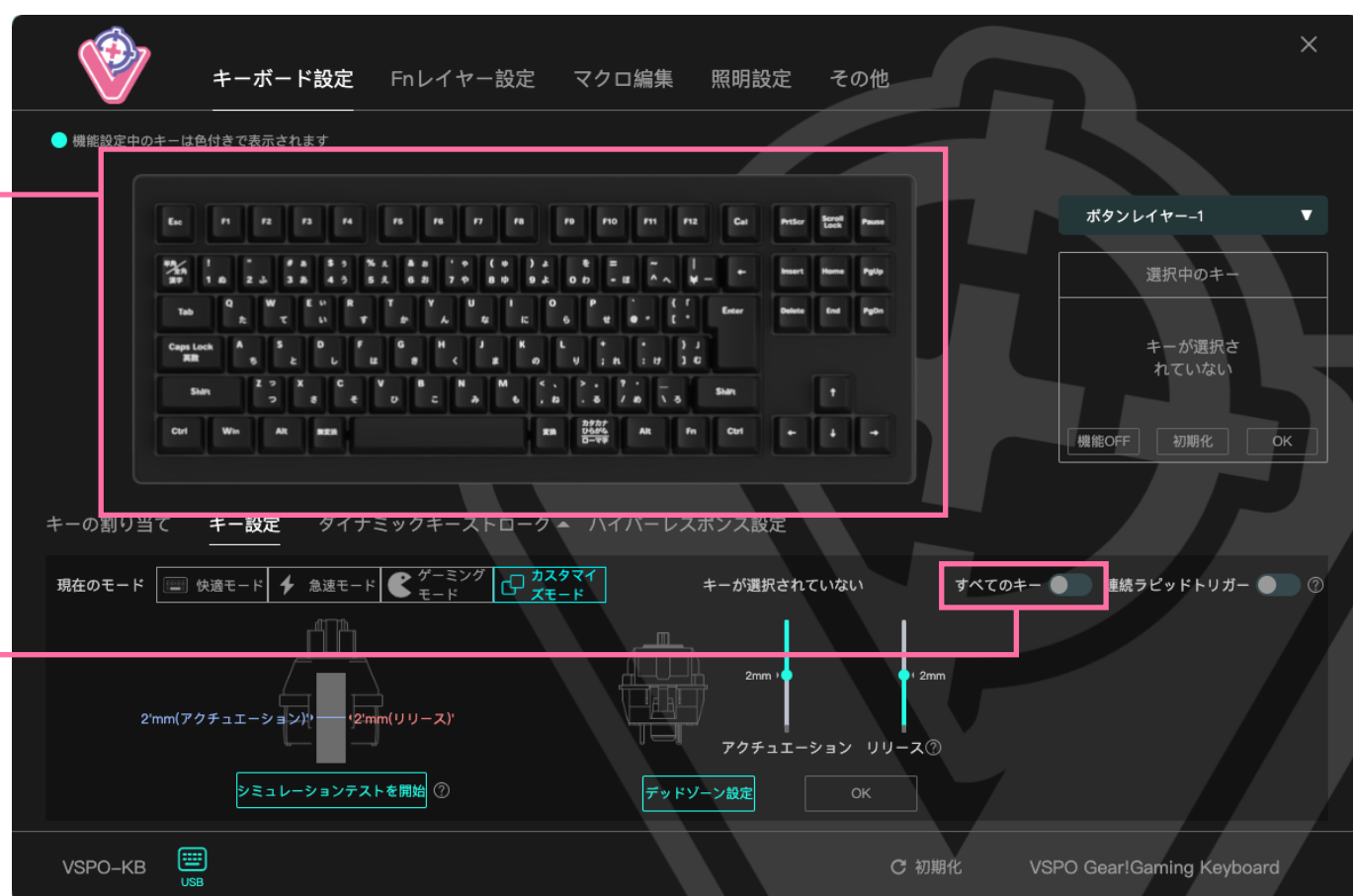
2 キー選択

上のキーボードから**設定変更したいキーをクリックして選択**します。

選択されたキーは白い枠で囲われます。

キーは複数選択をすることにより、一括で設定ができます。

全てのキーを同一の設定にしたい場合は「**すべてのキー**」のボタンをクリックしてください。



3 数値変更

つまみを動かして、任意の数値を設定してください。

※**アクチュエーション**:
 キーを**押し込んだ**際に入力が**ON**になる深さ

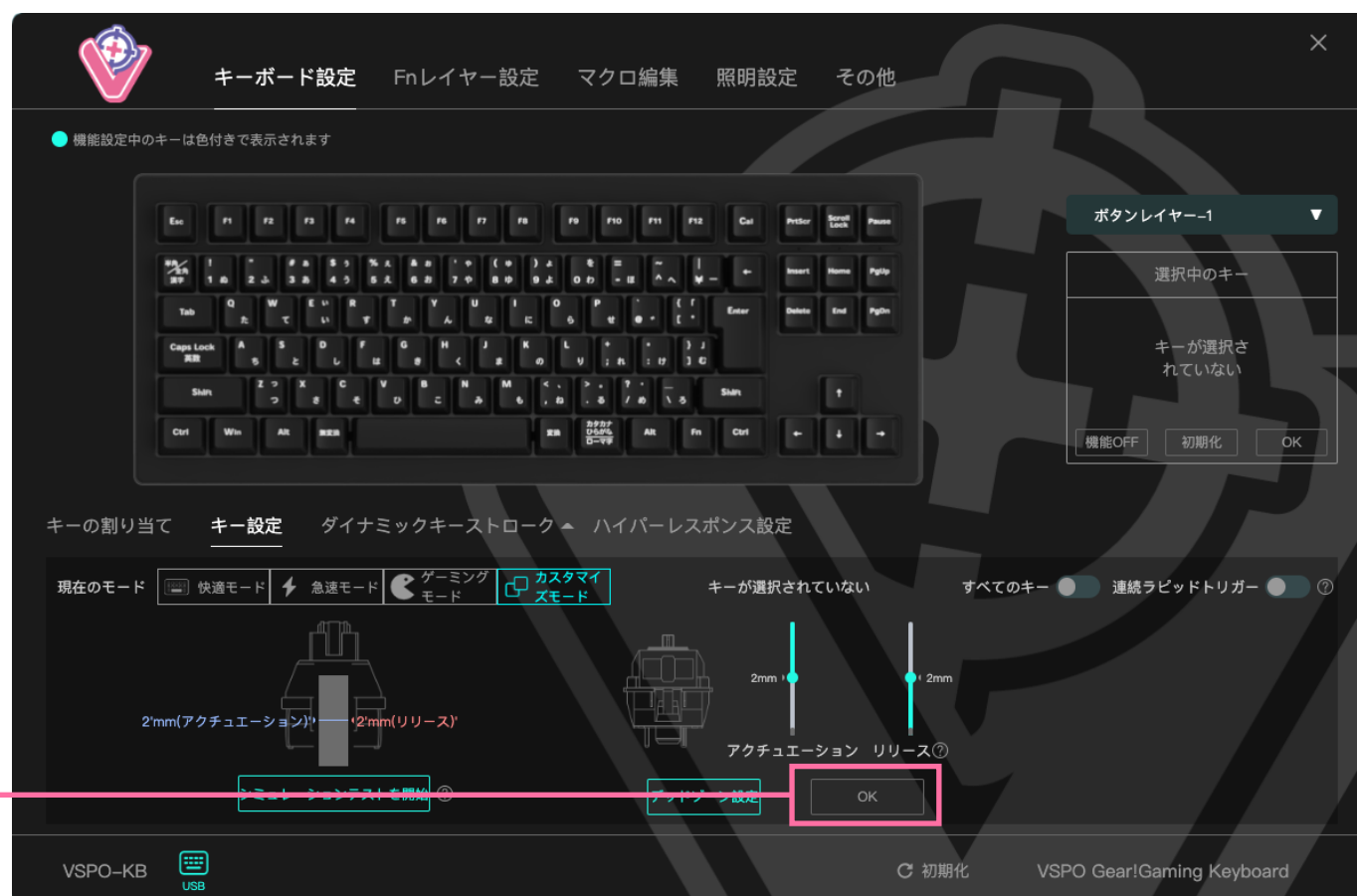
※**リリース**:
 キーを**離す**際に入力が**OFF**になる深さ



つまみ

4 設定の反映

「OK」を押すと設定が反映されます。



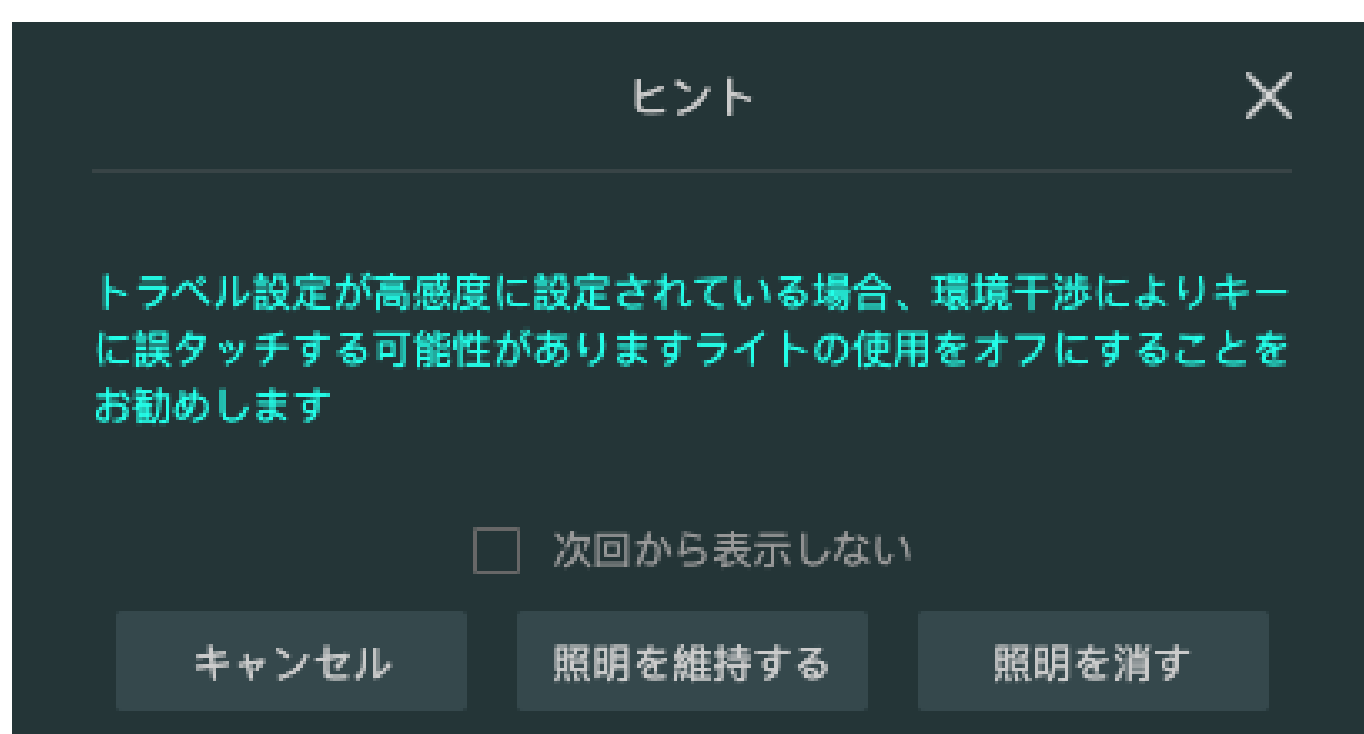
「Fnレイヤー設定」や「キーの割り当て」などの別タブに移行した際に、設定したキーが右図のように黄色い枠で囲われていれば設定は完了します。



5 ヒントのポップアップ

OKボタンを押した後、ヒントのポップアップが表示される場合があります。

当キーボードに搭載されている磁気スイッチは、照明の発熱などにも影響を受ける可能性があるため、設定数値によっては照明OFFを推奨しています。



2.ラピッドトリガーの設定方法

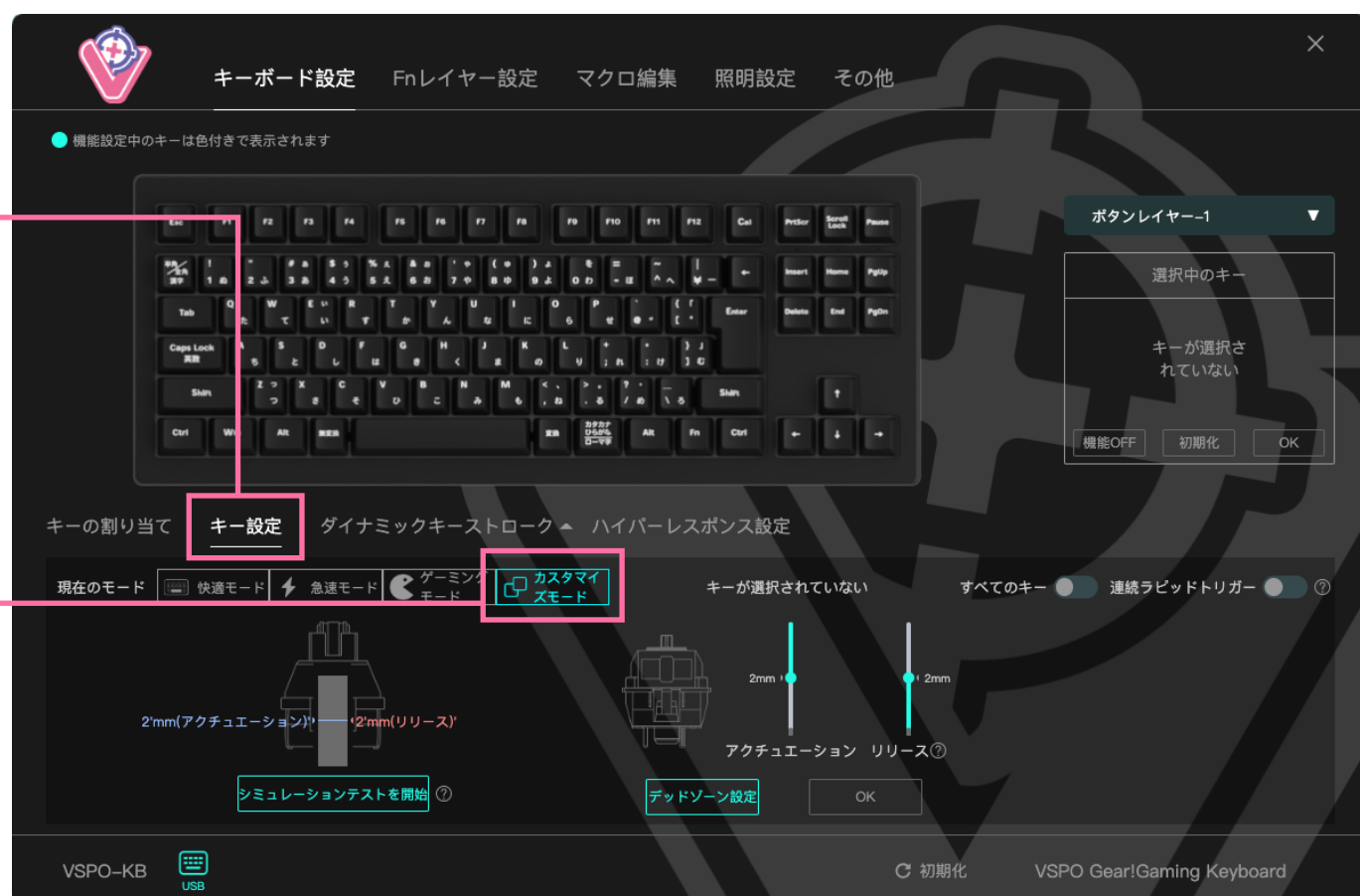
ラピッドトリガーとは

キーストロークに合わせて、ON/OFFの入力が切り替えられる機能です。
 例えば設定値を0.1mmにすれば、キーを戻している状態であっても、再度0.1mm押し込めば入力がONになります。逆に、どれほど押し続けても0.1mm離せば入力がOFFになります。

1 設定画面への移行

ドライバ起動後、「キーボード設定」内にある「**キー設定**」を選択します。

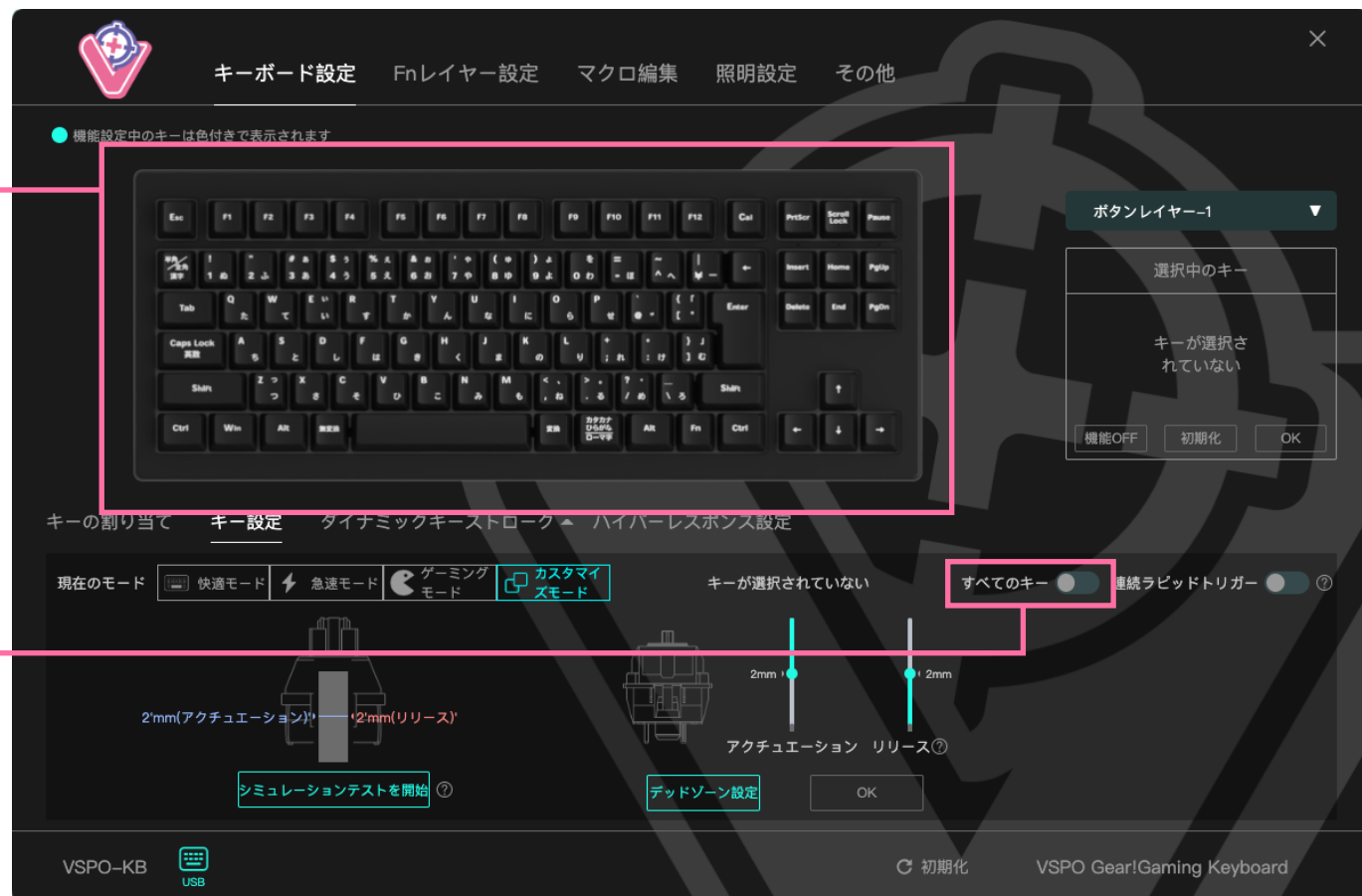
次に、「**カスタマイズモード**」を押して現在のモードを変更します。



2 キー選択

上のキーボードから**設定変更したいキーをクリックして選択**します。
 選択されたキーは白い枠で囲われます。

キーは複数選択をすることにより、一括で設定ができます。
 全てのキーを同一の設定にしたい場合は「**すべてのキー**」のボタンをクリックしてください。

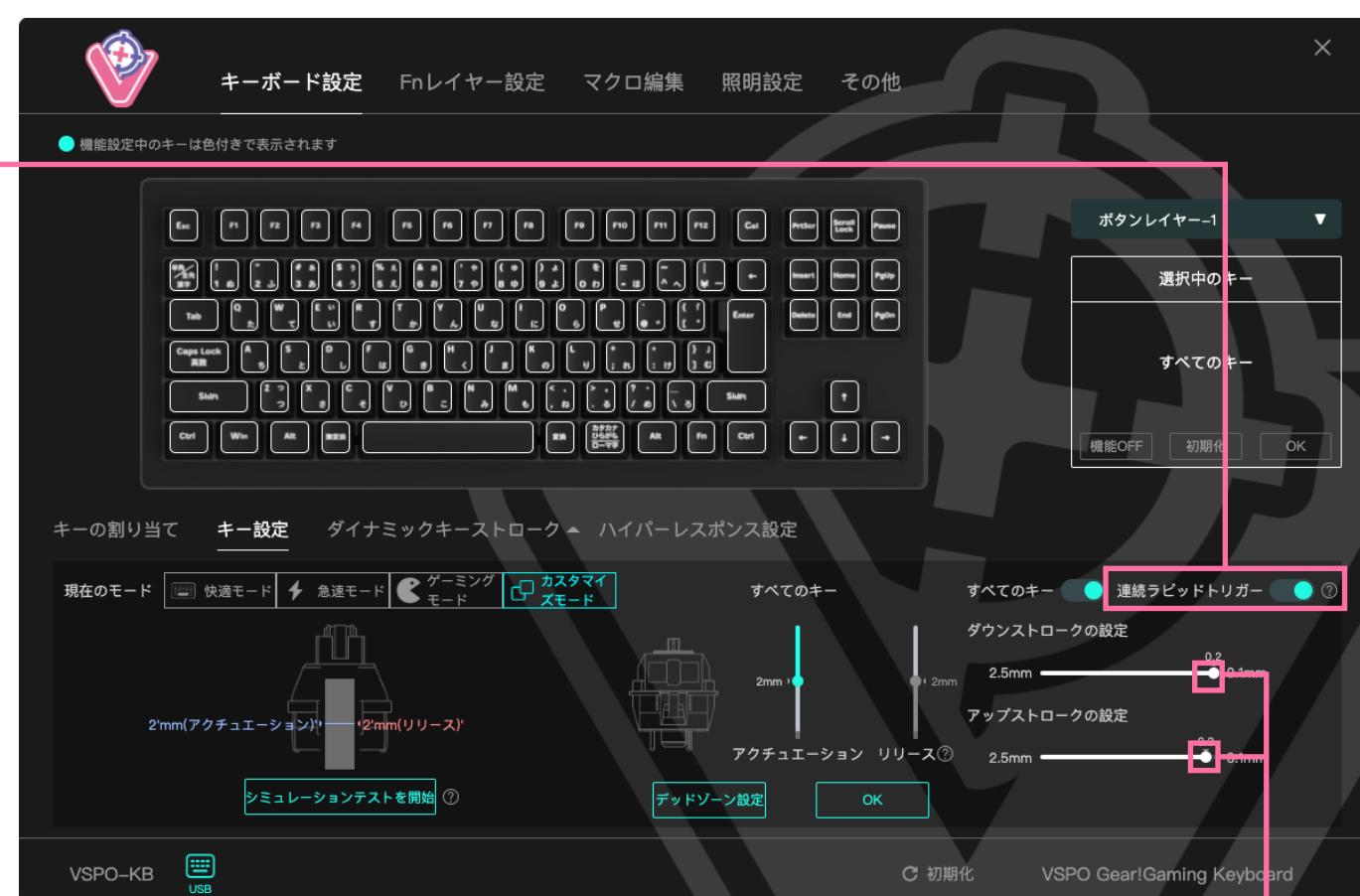


3 数値変更

キーを選択した後に、右側の「**連続ラピッドトリガー**」のボタンをクリックします。
つまみを動かして、任意の数値を設定してください。

※**ダウンストローク**:
 キーを**押し込んだ**際に、ラピッドトリガーが作動する深さ

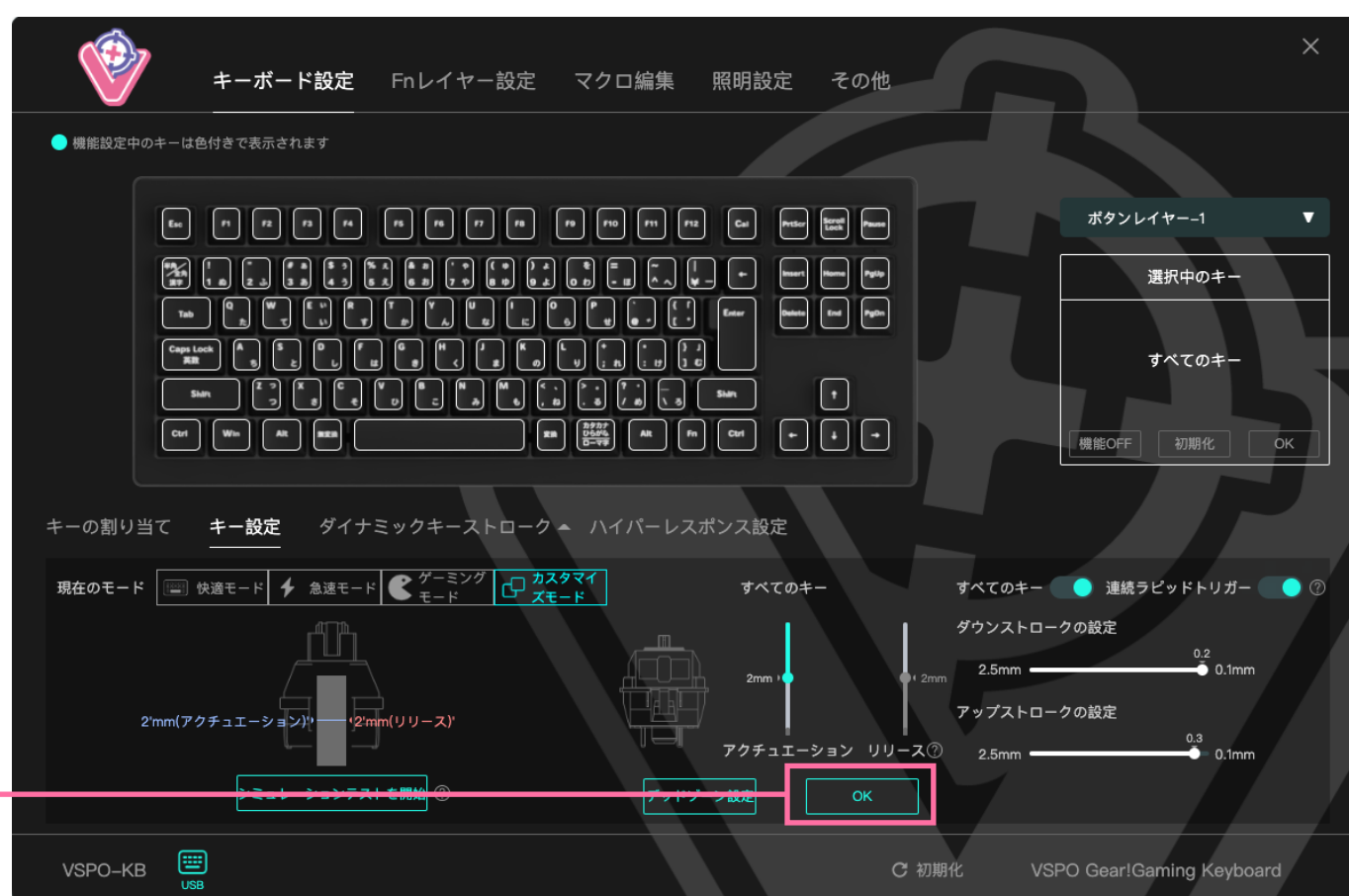
※**アップstroーク**:
 キーを**離す**際に、ラピッドトリガーが作動する深さ



つまみ

4 設定の反映

「OK」を押すと設定が反映されます。



「Fnレイヤー設定」や「キーの割り当て」などの別タブに移行した際に、設定したキーが右図のように黄色い枠で囲われていれば設定は完了します。



5 ヒントのポップアップ

OKボタンを押した後、ヒントのポップアップが表示される場合があります。

当キーボードに搭載されている磁気スイッチは、照明の発熱などにも影響を受ける可能性があるため、設定数値によっては照明OFFを推奨しています。

